

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 7013-3 (H.24)No. 7013-3

事務事業名	介護老人保健施設ゆりの里(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	ゆりの里(総務室)	山本 明志	61-1155
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 12 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード
病院事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項		(小事業名)
目		

3. 事務事業の概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> 施設介護サービス(入所) 介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰をするために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの提供を実施。 通所リハビリテーション 要介護者に「ゆりの里」に通ってもらい、理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを実施。 短期入所療養介護 短期入所してもらい、看護、医学的管理下における介護や機能訓練、その他必要な医療や日常生活上の世話をを行う。

めざす効果(事業目的)
<p>看護・介護・リハビリテーションなどを必要とするお年寄りの方々に適切な医療サービスを行い、自立を支援し、家庭生活への復帰をめざすとともに、居宅介護支援事業者等と連携を取りながら在宅生活を支えることを目的としています。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 15,457人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,165人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 111人	施設利用サービス ・入所者(年間在在所者延べ人数) 16,969人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,960人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	補助金・交付金	その他 ()		
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)	
			施設利用サービス・入所者(年間在在所者延べ人数) 17,155人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	施設利用サービス・入所者(年間在在所者延べ人数) 17,155人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	施設利用サービス・入所者(年間在在所者延べ人数) 17,155人 ・通所者(年間通所者延べ人数) 1,936人 ・短期入所者(年間利用者延べ人数) 329人	
直接事業費	111,759千円	118,856千円	111,940千円	111,940千円	111,940千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()	64,210	109,254	103,432	103,432	103,432
一般財源	47,549	9,602	8,508	8,508	8,508	
人工数	職員	11.50人	11.50人	11.50人	11.50人	11.50人
	臨時職員等	17.00人	17.00人	17.00人	17.00人	17.00人
概算人件費	156,747千円	163,129千円	169,648千円	169,648千円	169,648千円	
+ 総事業費	268,506千円	281,985千円	281,588千円	281,588千円	281,588千円	

本シートの概算人件費欄 には、実際に要した(要する見込みの)人件費を記載しています。
 平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
 平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	16,969
	実績		14,091	14,934	15,650	15,457	
活動指標	目標	人	-	-	-	-	1,960
	実績		1,682	1,598	1,206	1,165	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	53.0
	実績		50.1	54.4	57.8	59.3	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
・入所稼働率が22年度実績(1日あたり42.9人)から0.7ポイント下がった。(23年度実績:1日あたり42.2人) ・通所利用率も22年度実績(1日あたり4.9人)から0.1ポイント下がった。(23年度実績:1日あたり4.8人)	入所については1日あたり45人を目標に申請者への面接等を積極的に実施する。 通所については1日あたり利用者5.4人を目標にして利用者の獲得に努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・老人福祉施設の増加 ・介護報酬の改正(平成24年度) ・看護、介護職員の確保 ・施設の老朽化に伴う修繕費用の確保	市民からはより多様なサービスの提供と質の向上が求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 民営化も今後の選択肢の一つではあるが、市立病院との関連があるため公的機関のメリットを生かしながら運営を持続させていくことが最良と考える。

特記事項

--